

富里市廃棄物減量等推進審議会会議録（第2回）

○日 時 令和元年10月10日（木）10時00分～10時40分

○場 所 富里市役所分庁舎2階大会議室

○出席者 [審議会委員]

大道会長、高谷副会長、伊藤委員、岩井委員、木曾委員、
酒井委員

[事務局]

加瀬課長、戸村主査、島田主査、塙主査補、大竹副主査

[中外テクノス]

松岡巨恒、石津知

○欠席者 [審議会委員]

石澤委員、畠山委員

1 開 会

2 委嘱状交付

3 議 題

（1）富里市一般廃棄物処理基本計画中間見直しについて

4 そ の 他

5 閉 会

1 開 会

2 委嘱状交付

3 議 題

(1) 富里市一般廃棄物処理基本計画中間見直しについて

会 長 それでは、議題3の審議に入りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

事務局及び中外テクノスより資料説明

会 長 ただいまのご説明について、ご意見ご質問がありましたら、お願いします。特に無いようでしたら私から質問があります。中間見直し案の中に将来予測に関する図表があり、分数曲線、べき乗曲線など様々なものさしについて説明がありましたが、そういった手法は統計的に常となるものですか。

中外テクノス 環境省のマニュアルにも記載されている手法で、過去の実績を用いて将来を予測する、トレンド予測とも言われており、通常よく使用されています。

会 長 本文中に「環境省のマニュアルを使用した」云々という説明文は入れないのですか。予測値を算出する手がかりを知りたいと考える市民も多くおられるのでお聞きしました。また行政側のお考えをお聞かせください。

中外テクノス 今回は含んでおりませんが、ご要望に応じて各計算式の意味合いや構造について説明文を入れることは、可能です。

事 務 局 わかりやすくするためには問題ないと考えます。

中外テクノス 資料編に各計算式とその意味について記載します。

会 長 この手法の選択は富里市だけでなく、他の自治体でも同様の手法を使用されているのですか。

中外テクス 概ね同一の手法を使用していますが特段の事情がある自治体様もおありなので、個別に対応する場合があります。今後の状況で、変化が大きくなければ、総ごみ量や可燃ごみ量などの原単位の実績を用いて計算します。ごみ種ごとに、個別の予測値を出すこともありますが、全体的な予測がおかしくなってしまうこともあるため、注意が必要ですし、プラスチックの回収を開始する、新規施設を建設するなど施策状況によっても計算方法などは考慮しなければなりません。

会 長 行政に質問ですが、ダンボールの回収についてお考えをお示しいただきたいです。例えばスーパーなどは今後、レジ袋が有料化されるのに、ダンボールの排出抑制のため、市民の持ち帰り用にして、事業系ごみから家庭ごみへ転換を図っている。また子ども会などで集団回収なども踏まえ、意見をお聞きかせください

事務局 ダンボールについては今、富里市では集団回収は行っていますが、古紙回収は毎月1回しか行っていないので、団体に出すか、搬入するかなど、選択肢が少ない状況です。今後、審議会の場をお借りして、古紙についてステーション回収できないかという議論をさせていただきたい次第です。

委 員 スーパーマーケットには回収ボックスがあり、スーパーマーケットからダンボールも持ち帰っても、また回収ボックスに戻せば問題ないと考えます。

委 員 私の場合は子ども会や敬老会で資源ごみ回収を行っているので、スーパーマーケットの回収ボックスではなく、そちらの方へ排出しています。資源として排出した量にプラスして市から補助金が出るので、協力しています。

会 長 ほかに何かありませんか。

委 員 今回初めて数字を見させてもらったので、また詳しく見てみたいと思います。

会 長 ほかに何かありませんか。なければもうひとつ確認ですが、計画では平成表記となっている部分がありますが、そちらは令和に修正されますか。

中外テクス 失礼しました。修正いたしますが、最近では西暦表記にされたり、和暦・西暦両方併記したりするケースもございます。

会 長 コンサルのお仕事柄、富里市だけではなく、他の自治体にも関わりがおありと思いますが、最近の廃棄物行政について何かコメントがあればお話し願います。

中外テクス やはり最近ではプラスチックの問題が大きくなっていると思います。施設が対応可能であれば、カロリーの高いプラスチックを焼却し、エネルギーとして回収したいというご意見も聞かれます。発電により得られる売電収入や分別収集を行うことによるごみ処理のコストアップ、ごみ量全体の減少や市民の皆様の分別の手間の省略などが主なメリットとして挙げられますが、いかんせん、既に市民の皆様の理解と協力により容器包装プラスチックの分別体制を構築している自治体様は、今更、プラスチックを焼却処理することに対して、市民から理解が得られるのかどうかというジレンマに陥っておられるところもあります。あとは生ごみのたい肥化について、水分の多い生ごみをたい肥化することで水分量が減ります。一方プラスチックの資源化を進めることでカロリーは下がるので、生ごみたい肥化もしくは乾燥させて焼却することで、カロリーの面からみると良い状態となるため、そういったことに取り組まれている自治体様もあります。

会 長 消費税の増税により景気の動向も関係してくると思いますが、今後、ごみ量は減るとお考えですか。

事務局 富里市としては減るとは考えておりません。

委 員 食料品などは8%のままなので、それほどごみ量が関係しないのではないかと思います。

会 長 10%に変更される前にたくさん買いおきしたものが多く、その後、買い控えが続いて、全体的なごみ量などに変化があるかと予想していました。

事 務 局 ごみ量と景気はイコールで相関性があり、そう考えられるのも無理はないと思います。景気が良くなればごみ量は増える、というデータもあります。マスコミ等も含めて、前回8%に上がったときはそういった傾向も想定していましたが、今回はそれほど影響がなさそうだというのが市の見解です。ただ先日の台風被害で出た災害ごみはかなり出ていますし、また19号が接近しそうですので更に増える可能性があります。それらの処分費と量については、今回まとめた表などに反映した場合、かなり現状から変わってしまうことはご了承ください。

会 長 台風被害など、単年度の事であれば巻末にその旨説明文を入れるようにしてはいかがでしょうか。

事 務 局 平成31年度（令和元年度）は実績値ではなく予測値となってしまうので、文章として追記するのは難しく、計画期間が終わるまでは口頭説明に終始するしかないと考えます。現在の委員様含めて関係者にはすぐに理解いただけますが、5年後、皆様に理解いただこうとすると台風15号、19号の影響があったからですということは伝えていくしかないと考えます。

会 長 その他、よろしいでしょうか。特に無ければ事務局へお返しします。ありがとうございました。

事 務 局 ありがとうございました。事務局から冒頭に説明したパブリックコメントについて、12月議会が11月から始まるので議員の皆様へ説明をして、12月末ごろから開始したいと思います。3月にパブリックコメントを受けた修正を行い、製本化した上で皆様にご提出し、第3回の審議会を開催、その後、審議を終了したいと考えております。

事務局 次第の4.その他ですが、中間見直し以外のことも何かあればお願いします。

委員 前回の審議会で、ごみ集積所に監視カメラを設置する話がありましたが、あの後も不法投棄が続いています。

事務局 環境保全班で監視カメラを保有していますので、空きがあればお貸しできると思います。因みにごみ集積所は蓋が有りますか、網だけですか。

委員 蓋は有りませんが、網はきちんと掛けています。車に乗って来て、そのまま通り抜けする感じで不法投棄されるので困っています。

事務局 それは審議会後、別途対応させていただきます。他になければ、第2回の審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

5 閉 会